

ル態度ヲ執ラザルベカラザルニ至リ候  
 即チ其ノ方法トシテハ大阪其他ノ各港ニ於ケル間口組ノ荷役ニ  
 ハ組合員ハ全然之ニ反對スベク場合ニ依ツテ荷役中止及停船等  
 最悪ノ結果ヲ招來スルヤモ計ラザルヲ以テ現在間口組ニ荷役ヲ  
 御下命ナサレ居ラル、貴社ニ對シテハ誠ニ御迷惑ノ事ト渺ナカ  
 ラズ恐縮ヲ致シ居リ候得共事情右ノ如クニ候間組合對尼崎汽船  
 並ニ間口組ノ關係ヲ事前ニ御話シ申上ゲ貴社對間口組ノ御關係  
 ニ付キ御高配ヲ仰グ次第ニ御座候

敬具

川崎 栃木 山下 各汽船會社々長殿  
 中村 辰馬

ヲ發スルト共ニ各關係支部ニ對シテ「間口組ヲ使用シ荷役ヲナシ  
 タル船舶ハ直ニ停船スベシ」トノ指令ヲ發シテ乘組員ノ統制ニ關  
 シ對策ヲ協議シ以テ各支部ヨリ續々停船ノ入電ニ氣勢ヲ擧ゲテ益  
 ヲ結束ヲ固メ双方強硬ナル態度ヲ以テ對峙シ居タルガ廿三日早頭

ニ繋船ノ大業丸ハ、チーゼルエンジンノ主要部分デアアル重油ポンプ  
 ノ壓力ヲ加減スルノツチンバー、ト、タスリート用ノパイロットヴァ  
 ルブノンバー、舵機ノウォームキイルヲ何者カニ取り去ラレ白濱丸  
 ハ揚船機ノストツブ・ヴァルブノハンドルガ紛失シ秀吉丸ハ航海燈  
 ガ盜レテイル等奇怪ナル故障續出シ運航不能ニ陥リタリ會社側ハ應  
 急修繕ノ上廿四日應援隊ヲシテ出帆セシメントシタルニ組合側ニ於  
 テハ是又應援隊ヲ動員シ手ニ手ニ白木ノ枳棒ヲ携へ同船ニ乗込ント  
 シソレヲ阻止セントセシ會社側ハ應援隊ト亂闘ヲ演ジ双方共ニ負傷  
 ヲ出ダシ關係者全部檢束サレ遂ニ出帆中止ノ己ムナキニ至ル、尙大  
 阪港第三突堤ニ繋船中ノ朝鮮航路赤城丸モ仁川ニ向ケ出航スベク荷  
 役中ボイラーノ火ヲ落シ、ウインチパイプヲ取外シ汽罐ノヴァルブ  
 ヲ抜キ漏ヲ落シテイル現場ヲ夫々大阪水上署員ニ發見サレ直ニ檢束  
 ヲ受ケ遂ニ出船不能ニ陥リタリ

因ニ組合側ノ發表ニヨル停船數ハ十七隻デアアル、而シテ會社側ハ全